

賃貸住宅再考

2015年 11月 2日 (月) 14:00 ~ 17:00

開場 13:30

参加費無料 建築会館 301・302 会議室
東京都港区芝 5-26-20

趣旨説明 大月 敏雄

東京大学 教授

講演 尾神 充倫

独立行政法人都市再生機構

片岡八重子

株式会社ココロエ代表

NPO法人尾道空き家再生プロジェクト

浅香 充宏

株式会社ベガ代表

フィオーレ喜連川管理組合

戦後持家政策を推進してきた日本において、賃貸住宅の果たす役割は縮小し、公的住宅分野においては新規物件の供給がほとんどストップし、企業がもつ社宅や寮は廃止され、住宅地においては建築協定や地区計画などによって賃貸アパートの建設が禁止され、都市部においてはワンルームマンションが規制され、農村部においては農地を潰して建てた鉄骨アパートから空き家が増えている、という現象が一般的となってきた。

一方で、空き家が増える中で、家を所有することだけが本当に豊かな生活を保障する唯一の選択肢かが問われることとなり、また、地域の再生にとって手軽に用途を転換す

ることが容易で、地域に新たな息吹をもたらす可能性を秘めた賃貸住宅がテコとなっているケースが増えているのも事実である。また、リノベーションによって、社宅や寮や公的賃貸住宅すらも、シェアハウスやサービス付き高齢者向け住宅といった形の賃貸住宅に生まれ変わりつつあり、若者を地方に呼び込むための新たな賃貸住宅も必要とされている。

ここに、いまひとつたび賃貸住宅に焦点を当て、その可能性について再考することを、本企画の主旨としたい。

大月敏雄（東京大学教授 すまいろん編集委員会委員長）

申込 電話/FAX/HPにて受け付けます。**方法** お名前、ご所属、ご連絡先をお知らせください。

一般財団法人 住総研

〒156-0055 東京都世田谷区船橋 4-29-8

TEL 03-3484-5381 FAX 03-3484-5794

HP <http://www.jusoken.or.jp/symposium/sumaisympo.html>